

## ソフトウェアライセンスの 利用がもたらす変化への対応

「State of Software Monetization Report」  
(2022年)



カスタマーエクスペリエンスを向上させる  
には、多様なソフトウェアの配布オプショ  
ンを提供することが重要です。



**74%**

今後12~24か月間にわたって、  
SaaS (Software as a Service)  
の提供が増加すると想定してい  
る調査対象企業の割合

**50%超**

オンプレミスアーキテク  
チャーを維持しながらクラウド  
のメリットを活用することで、  
ハイブリッドアプローチを採用  
することを望んでいる回答者の  
割合



**66%**

今後12~24か月間で、オンプレ  
ミスとクラウドのハイブリッド  
で配布されるソフトウェアが増  
加すると予想しているISVおよ  
びIDVの回答者の割合

ソフトウェアの誤用や不正使用は損失の  
原因となっており、ベンダーはこのリスク  
が低減されないことを危惧しています。



**90%**

ライセンス契約の違反が収益に直接影響を及  
ぼすと述べた回答者の割合



**90%**

ソフトウェアが盗難、改ざん、または複製され  
ることを危惧している回答者の割合



**82%**

ソフトウェアの誤用や不正使用への対処がビジネ  
スに著しい影響を与えることに同意した回答者の  
割合

サブスクリプションベースのソフトウェ  
アに対する需要の増加に伴い、SaaSの  
配布は倍増しています。

**30%**



2014年：回答者のう  
ち30%が望ましいソ  
フトウェア配布方法と  
してSaaSを挙げた

**65%**



2021年：ISVおよび  
IDVの65%が顧客にク  
ラウド経由でソフトウ  
ェアを配布している

**49%**



現在：調査対象のベ  
ンダーのうち49%が  
現在、ソフトウェア  
をハイブリッドで配  
布している

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）  
は次第に終息していくかもしれませんが、  
それがどうあれ、ソフトウェアライセンス  
の課題は残り続けます。

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの悪影響を受けたベンダーは、複  
数の新しい課題に直面しています。

**43%**



ビジネス上のニーズに適  
合しない、柔軟性に欠け  
るライセンスに起因  
する課題を抱えているベ  
ンダーの割合

**37%**



モートワークするユーザ  
ーをサポートすることが  
困難であることに気付い  
たベンダーの割合

**40%**



複数のデバイスにわたる  
ライセンスに苦慮し  
ているベンダーの割合

**40%**



異なる導入環境に伴う問  
題を抱えているベンダー  
の割合

ソフトウェア収益化を適切に実施できれ  
ば、顧客利用状況データに関する価値あ  
るインサイトを得ることができます。

ベンダーはどのようなデータを利用して  
いますか？



**43%**

ユーザーがどんな機能について検索して  
いるのかに注目しているベンダーの割合

**41%**

最も人気のある/ない製品に関心があるベ  
ンダーの割合

**41%**

最も頻繁に使用されている/されていない機  
能が何であるかを知りたいベンダーの割合

詳細を確認するには、レポートの全文をダウンロードして  
ください。

今すぐダウンロード